

国土交通省では、昨今の甚大な豪雨被害をふまえ、自然災害から命を守るために防災教育支援の強化に務めています。

令和3年9月16日(水)に愛知教育大学附属名古屋小学校で実施された授業では、生徒達が災害について事前に調べた事を発表・意見交換をしました。授業の中で「川の防災情報」「マイ・タイムライン」を紹介するなど災害への備えや、水害を自分事として認識することの大切さを伝えました。



4年1組の授業風景



災害への備えについて説明する伊藤地域防災調整官



生徒自身で調べてきたことを発表



「水害について調べてみよう！」
事前にビデオメッセージを送りました

【対象校】愛知教育大学附属名古屋小学校 4年1組 33名

下記のような感想がありました。

- 公助に頼るのではなく、自助と共助を大切にする事が改めてわかった。
- 対策をしている、してくれているから命を守ることができている。
- 東海豪雨をきっかけに対策が強化されていることを知った。

また、「家でも授業のことを話してくださいね！」と言うと「は～い、話します」と元気のいい返事が返ってきました！